

編輯室の内外

土木主任官會議で東上した本會地方幹事の有志、忙かしい折柄にも懇々穢い編輯室を訪れ、本年度樹てた道路改良計畫に就ての法螺や自慢話、次には愚痴もでる、俺の所の知事は矢張り政黨第一主義で道路のことなんか如何に進言しても聽いて呉れないイヤ俺の所の爺は道路改良の利益は知つてゐるが、夫れを策すると民政黨の連中に睨まれるから手を出さない、イヤ俺の長官は尻の穴が小さいので三年位の計畫で辛抱して呉れと言つた、等々と、ケチ臭い話、俺のところは土木知事だよ土木の事なら何でも聽て呉れる、イヤ俺の縣は政府と違つて一億圓計畫だよ、とは又景氣の可い話、小さな編輯室が綻る程の騒がしき、知事公

の心裡を言ひ表はして妙。

併しお互に知事公の悪口を言つてはゐるものゝ道路の改良には大なり小なり夫れ相當の計畫は樹てたらしい、が、其の財源は何れも起債、起債の償還財源は何れも國庫補助、起債は許して呉れるであらうか國庫の補助は呉れるであらうかと、何れの主任官も顔を見合せて濫顔、誰か隅の方から小さい聲で、道路は嫌でない筈の佐上サンが地方局長ぢや、今の内に改良計畫を樹れば樹れるときがないぞ、と、嫉る悪戯者がゐる、誰だと思つたら路政僧では無かつたか、又誰かと言つた、道路は嫌でないにしても、俺の所の十年起債を三年間しか許して呉れないぢやないか、道路の愛護家でも財政の途に長になると、矢張り消極的で駄目だ、昔のことを忘れたのぢやと、蔭口を叩いた、蔭口を言はれてゐるとは知らない

佐上地方局長、局長室で鼻唄を歌つて、道路ばかりが途ぢやない……と。  
暑くなつて來た原稿書きも餘程の苦勞だそれに我が路政の爲に玉稿を寄せらるゝ各位に對し深甚の敬意を表し、一層努力することを約するが、茲に各位と喜ぶことは、

這般行はれた地方官の交迭で、曾て本誌の爲に筆を採つて呉れた桑原幹根君やら小林尋次君が本省に歸つて來たことだ、來月號から筆をとつて呉れる筈、さぞかし誌上を賑すであらう。(た)

本號定價 五拾錢  
一ケ年分 金六圓  
東京市麴町區大手町一丁目内務省内  
發行所 社團 道路改良會  
發行兼 編輯者 上山陸造  
東京市小石川區久堅町一〇八  
印刷所 共同印刷株式會社  
印刷者 君島潔